燃料油価格に関する支援策の推移

	2021年度		2022年度			2023年度		2024年度	2025年度			
支援対象期間	1月27日～3月9日	3月10日～4月27日	4月28日～9月30日	10月1日～12月1日	1月1日～5月31日	6月1日～8月31日	9月1日～12月18日	12月19日～5月21日	5月22日～11月12日	11月13日～12月30日	12月31日～3月18日	3月19日～
補助上限額	5円	25円	35円 さらなる超過分についても1/2を支援		補助上限額を35円から25円まで毎月2円ずつ引き下げ	25円以下は2週ごとに補助率を1/10ずつ引き下げ 25円超は2週ごとに補助率を0.5/10ずつ引き上げ ※段階的に縮減しつつ、高騰リスクの備えを強化	17円超は全額補助、17円以下は補助率3/5 ※流通の混乱を防ぐ観点から、2023年9月は補助率を3/10、10月以降は補助率を3/5	17円超の185円を上回る部分は全額補助、17円以下は毎月補助率を3/10ずつ引き下げ （2024年12月19日～：補助率3/10 2025年1月16日～：補助率ゼロ）	定額引下げ措置 ガソリン：10円 軽油：10円 灯油：5円 重油：5円 航空機燃料：4円 最初の週の支給額は、2週目のガソリンの全国平均価格が5円引き下がるように設定。2週目以降の支給額は、定額に達するまで、全国平均価格が毎週1円下がるように補助を追加する。 （予防的な激変緩和措置（6月26日～9月3日） 定額引下げ措置に加え、当該定額補助を講じても、ガソリン全国平均小売価格が175円を超える見込みとなった場合、その超過分について10/10補助。）	定額引下げ措置 ガソリン:15円、20円、25.1円 軽油: 15円、17.1円 灯油: 5円 重油: 5円 航空機燃料:4円 11月13日からガソリン15円、軽油15円、11月27日からガソリン20円、軽油17.1円、12月11日からガソリン25.1円となるよう支給額を段階的に拡充。	定額引下げ措置 軽油：17.1円 灯油：5円 重油：5円 航空機燃料:4円	緊急的激変緩和措置 ガソリン：全国平均小売価格が170円を超える見込みとなった場合、その超過分について10/10補助 軽油・重油・灯油：ガソリンと同額 航空機燃料：3月19日からガソリンの補助額の４割相当、9月3日からガソリンの補助額の８割相当 （軽油については、暫定税率廃止までの間、暫定税率相当の17.1円の補助に加えて追加的に支給。）
基準価格	170円 ※4週ごとに1円引き上げ	172円	168円					185円 ※1月16日以降	–	–	–	
対象油種	ガソリン、軽油、灯油、重油		ガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料						ガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料		軽油、灯油、重油、航空機燃料	ガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料
予算	R3補正予算等：893億円 R3予備費等：3,580億円		R4予備費：1兆5,733億円 R4補正予算：1兆1,655億円	R4第２次補正予算：3兆272億円 R5補正予算：1,532億円 R6予備費：7,730億円				R6補正予算：1兆324億円	※既存予算を活用			R7予備費：7,948億円 R8第１次補正予算：6,136億円

累計予算額：9兆5,804億円